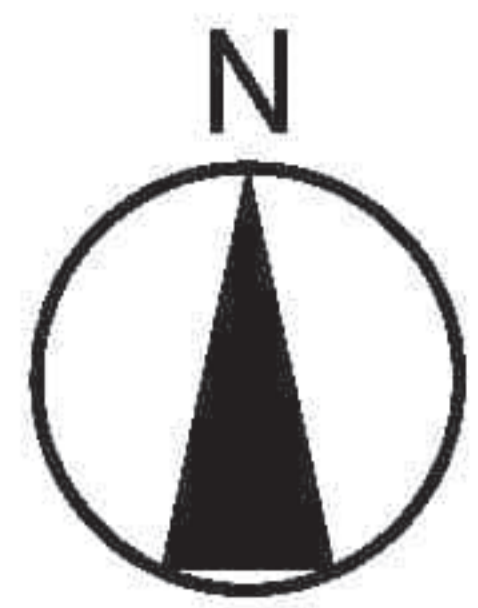


# 鐘ヶ淵周辺地区の消防活動とりまとめ図

0m 100m 200m 300m



A3 1:5000

- 凡例**
- 消火栓
  - 消防水利

- 凡例**
- 鐘ヶ淵周辺地区
  - 幅員4m以上6m未満の道路  
幅員4mあると、駐車車両がなければ消防車が通行でき、消防活動も可能であるため、最も基本的な防災機能を持つ道路とされている。
  - 連続している幅員6m以上の道路
  - 連続していない幅員6m以上の道路
  - 震災時の消防活動困難区域
- 阪神・淡路大震災の経験から、震災時に建物や壁面等の倒壊がおきても、消防車が通行出来る可能性が比較的高いと想定された幅員が6m以上の道路から、消火ホースを200mに延長し、道路の曲がり角を考慮した、半径約140mより以遠を震災時の消防活動困難区域とされている。

消防車は西から東に向け良く通るが、道路が狭くなると右折するのに苦労しているようだ。

